

皆様と
病院を結ぶ
情報誌

すまいるみと

論壇



C型肝炎について

内科部長 松本尚志

最近、新聞やテレビでC型肝炎についての話題が取り上げられることが多くなっています。C型肝炎とはC型肝炎ウイルスというウイルスが血液を介して体の中に入ることによってかかる病気です。ウイルスに感染すると急性肝炎といつて急に肝機能の数値が悪くなつて黄疸が出たり体がだるくなつたりする場合とほとんど症状がでない場合とがありますが、多くの場合ウイルスを体の中に持ち続けるキャリアとなり慢性的肝臓の悪い状態が続く慢性肝炎や肝硬変になります。慢性肝炎になると症状は全くなく徐々に肝臓がこわれゆき十年から三十年で肝硬変になります。このようになります。

C型肝炎にかかっている患者さんは全国に

二〇〇万人いるといわれており、五十歳以上の比較的高齢者が多く、三十歳以下の若年者に少ない傾向があります。わが国では年間約三万五千人の人が肝細胞がんで死亡しているわけですが、その肝細胞がんのうち八割近くがこのC型肝炎の患者さんから発生しているのです。C型肝炎の患者さんは早期に発見するために今年四月から厚生労働省は老人保健法にもとづく健診でC型肝炎ウイルス検査を無料で行うことを決めて現在実施されています。

C型慢性肝炎を治す治療法としてはこれまでインターフェロンの投与期間の制限がなくなり、一年以上あるいは二年と長期間投与することによりもつと多くのC型慢性肝炎の患者さんを治せるようになります。また、すでに肝硬変や肝細胞がんになつてしまつていてる患者さんの治療も進歩しています。

まずは一度、C型肝炎ウイルス検査を受けてみてください。もし、かかってたら専門医の治療を受けることにより、肝硬変や肝細胞がんにならないようにしましょう。

退院相談窓口のご案内

当院では、退院後の症状や生活上の問題などに対し、適切な対応が出来るよう介護保険の申請代行からサービス利用に至るまでの手続き、また、訪問看護サービスを行っております。

1日1病棟程度で、ソーシャルワーカーが各病棟を訪問しております。ご要望のある際は各病棟婦長にお話し頂ければソーシャルワーカーが訪問致しますが、直接、ソーシャルワーカーにお電話等を下さっても対応させて頂きます。(TEL: 231-2371 内8135)

「介護保険の申請方法がわからない」「介護保険で受けられるサービスにはどのようなものがあるか」「料金はどのくらいかかるか」「住宅改修、福祉用具の購入・貸与の手続きはどうすればよいのか」など、介護保険に関するご説明を致します。ご利用の際には、当院内・居宅介護支援事業所のケアマネージャーにおつなぎ致します。

また、当院では訪問看護ステーションが併設されております。病気やケガ等によって健康状態に心配のある方、脳卒中の後遺症等で理学療法(リハビリ)が必要な方、痴呆のある方、さまざまな医療処置が必要な方など、退院後、ご自宅で療養を希望され、介護を必要としている方々に対して、かかりつけの医師の指示に基づいて、看護師がご自宅へ伺い、ご本人様の病状変化や障害に応じたケアを行います。患者様、ご家族の方を含めまして、皆様お気軽にご相談下さい。

平成14年7月30日

第15号

発行所 茨城県連生同病院
〒310-0015 水戸市宮町3-2-7
TEL 029(231)2371
発行人 川崎恒雄
編集 集報委員会

新任医師の紹介

患者様の
ためにがん
ぱります



整形外科科長
平野 篤



整形外科医師
野澤 大輔



整形外科医師
椎名 逸雄

ている方はぜひご相談下さい。

昭和六十三年 筑波大学卒
専門分野 整形外科 スポーツ整形
日本整形外科学会(専門医、スポーツ医)
日本体育協会公認スポーツドクター
日本股関節学会
日本膝関節学会

本年七月から整形外科を担当することになりました。整形外科は四肢、脊椎の外傷、慢性的疾患を広く扱う科です。骨折の治療、変形性関節症やリウマチに対する人工関節置換、手足のしびれ、痛みを起こす脊椎症の手術、スポーツ外傷に対する関節鏡手術などを積極的に行っていきたいと思います。これらの疾患でお困りになつた骨や手足の長さを治す治療も行っています。また創外固定器というものを使って曲がった骨や手足の長さを治す治療も行っています。患者さんのよき相談相手になれるよう診療したいときたいと思っております。よろしくお願ひいたします。



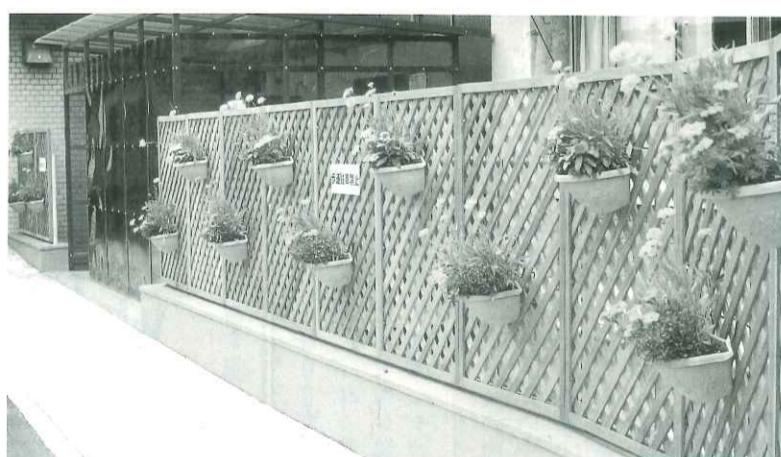
平成七年 山形大学卒
専門分野 整形外科

七月から筑波大学付属病院よりこちらに赴任となりました。骨や関節の病気・怪我の治療を専門としています。また創外固定器というものを使って曲がった骨や手足の長さを治す治療も行っています。患者さんのよき相談相手になれるよう診療したいときたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

平成十一年 筑波大学卒
専門分野 整形外科(脊椎外科を中心)
日本整形外科学会

椎名 逸雄

この七月から水戸協同病院に赴任いたしました。椎名と申します。六月までは国立霞ヶ浦病院で脊椎外科を中心に診療していました。首が痛い、腰が痛い、手足が痺れる・痛いなどの症状がありましたら気軽に相談に来てください。県北での勤務ははじめてで不案内なところもありますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。



▶ ハンギング



▶ 七夕の会シャンソンコンサート

平成14年7月6日(土)午後1時半より、2階外来待合室にて、サービス委員会主催の第1回七夕コンサートが開催された。

今回は、『シャンソンのタベ』ということで、牛久市在住のシャンソン歌手、柳田ふみ代さんをお招きした。

午前中の外来終了後、2階外来待合室の椅子を移動し、階段の上り口に即席ステージと七夕飾りを設置して、コンサート会場とした。

柳田さんは、『音楽の宅配便』を心掛けている歌手で、持参のCD演奏をバックに、約10曲のシャンソンを歌い上げ、聴衆を魅了した。車椅子の患者も含め、約100名の聴衆は、柳田さんの迫力満点の歌声に酔いしれて、あつという間の1時間半であった。透析室への出張コンサートというおまけもあり、熱い七夕のタベであった。

(平成14年7月30日 記 サービス委員長 勝又俊二)

水戸協同病院におけるボランティア活動の開始について

を積み重ねていきたいと思います。

病院サービス委員会・ボランティア委員会
委員長・眼科部長 勝又俊一

平成十四年三月十一日(月)より、ボランティアの方々による病院受付案内の補助と花の水やりなどの活動が始まりました。三月中に延べ十五名のボランティアの方々が、月曜日から金曜日までの午前中に、毎日二人ずつ活動して下さいました。活動が始まるまでは、どういう人達が来て下さるのかとか、実際にする仕事があるのだろうか、などの不安がありました。しかし、活動開始に先立って行われたボランティアの方々との懇談会で、ボランティアに集まって下さった方々の熱い情熱を感じ、不安は吹っ飛びました。また、実際の仕事の方も、午前中、ほとんど暇なし、といった状況です。外来の患者さんの各科への誘導だけでなく、売店、休憩所への案内など、よく今まで、ボランティアなしで、混乱なく外来診療が行われていたなあ、と感じるほどです。

今後は、より良いボランティア活動を行うため、定期的にボランティアの方々と懇談会



水戸協同病院における臨床工学科の設立について

水戸協同病院主催
第一回水戸市民セミナー

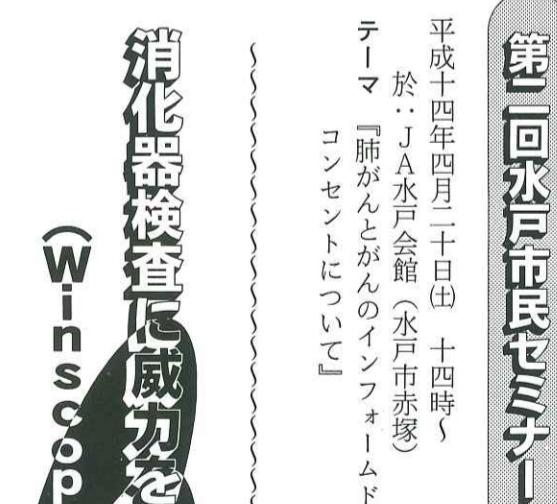
まず、最初に臨床工学士(ME、CE)って何?どんな仕事をする人たち?という疑問の声が聞こえてきそうなので簡単に説明します。昭和六十三年に国家資格になり今年で十五回目の試験となります。業務内容は、息のできない人が使う人工呼吸器・心臓の手術に使う人工心肺装置・腎臓の働きが悪い人が使う人工透析装置など(生命維持監視装置)を専門に扱うコメディカルの一員です。

当院においてどのように仕事・役割を目指していくかといふと、当然ながら一つの部門にとらわれず自らが携わる臨床業務に関してはプロとしての自覚と

割合を目標としていくかといふと、当然ながら一つの仕事・役割を目標としていく

ますと、当然ながら一つの仕事・役割を目標としていく

ますと、当然ながら一つの仕事・役割を目標としていく



(Winscope 6000型を導入)

水戸協同病院では胃や腸などの消化器検査

に威力を発揮する最新鋭のX線テレビ装置

(Winscope 6000型)を導入しま

した。高齢化社会を迎え、年々増加傾向にあ

る生活習慣病対策に欠かせない装置で、今ま

での装置とは違いDR装置(デジタルラジオ

グラフィー装置)を接続し、データの保存、

データの操作が可能でより質の良い画像が得

られる様々な機能が備わっています。そのこ

とにより、今まで描出が困難であった部分

も可能になり、大きな威力が発揮できるもの

と期待されています。消化

器系の検査が中心で食道か

ら胃、大腸、胆のうなどの

検査が可能になります。

これまでの装置と比べて、

透視検査並びにERCP、PTCD、ミエロ

グラフィー、腹部、上、下肢血管造影等の検

査に応えることができます。又、DR装置

(ADR-11000A)の設置により画像処理

装置の操作性、処理能力に優れ最良の画質、

高い診断能が得られる装置です。このこと

により疾病の早期発見、早期治療により大きな

貢献が期待できますし患者さんの医療被曝の

観点からも従来の装置より被曝低減が可能になっています。

(放射線技師部長 山口直二)

解りやすく、親しみのある講演に聴講者にも好評で成功裏に終えることができました。今後もどんどん市民に開かれた医療を目指したいと思います。

平成十四年四月二十日(土) 十四時~
於・茨城県JA会館 第一会議室
テーマ『大腸がんと便秘について』
講師 川崎恒雄 水戸協同病院長
小林美津 水戸協同病院栄養技師部長
テーマ『肺がんとがんのインフォームドコンセンサントについて』

講師 三井清文 水戸協同病院名譽院長
安感充
第二回水戸市民セミナー

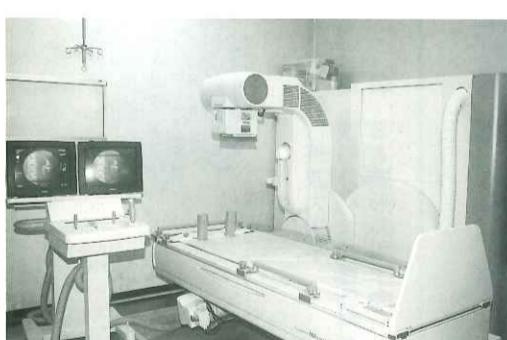
相談が寄せられました。救急蘇生法の実演は、今回初めてでしたが、わかりやすい実技とお話をだつたと好評で、質問に対してていねいに答える先生と身近に話せてよかったです。感想がありました。栄養科長の話や介護の実演、介護用品の展示にはここ数年、楽しみにして



毎年來て
いるとい
う声が多
くの神か
くしのテ
マ等、身
辺の歌、
千とちひ
ミニコン
サートは、
千鳥、浜
近な選曲
ですばら
マ等、身
い、心が
洗われる
ようで感
じで感
じ、期待され
たとのことで
した。短い時間でした
が、来場して下さった方々の健康への関心の高さを感
じ、期待されることばに私たちも元気をいた
だきました。

(看護師長 小野瀬文子)

(臨床工学科主任 谷田部哲夫)



学会発表(4月~6月)

- 第7回水戸周産期臨床懇親会
*演題 当院における母乳哺育推進への取り組みについて(2)
発表者 小児科 田中敏博
- 第105回日本小児科学会学術集会
*演題 腹腔鏡下手術後にBEP療法変法を施行した卵巣原発未分化癌
細胞腫の一女児例
発表者 小児科 田中敏博
- 第269回日本消化器病学会関東支部例会
*演題 体外衝撃波結石破砕碎法にて治療し得た胆石イレウスの1例
発表者 消化器内科 荒木真裕
- 第51回日本医学検査学会
*演題 数回値チェック法を用いた個別検体管理の許容限界 その5:
電解質成分
発表者 臨床検査部生化学検査室 雲類鶴雄一
- 第3回日本小児外科学会総会
*演題 オーダーカード導入による物品管理業務の改善
発表者 施設課 真家徹
- 第173回日本口腔外科学会関東地方会
*演題 膜原性肉芽腫の二例
発表者 歯科口腔外科 鈴木克年
- 第39回日本小児外科学会総会
*演題 卵巣未分化胚細胞腫の1女児例
下腹腔鏡下手術とBEP療法による治療
発表者 小児科 田中敏博
- 北関東地域放射線技師学術大会
*演題 多目的透視撮影装置を使用したBa-enemaにおける斜入撮影の検討
発表者 放射線部 加藤伸一
- 第52回日本医学会
*演題 効果的な患者カンファレンス
発表者 4西看護師長 川又光子
- 第18回日本皮膚性腫瘍学会
*演題 下肢に生じたStewart-Treves Syndromeの1例
発表者 皮膚科 有馬礼人
- 第200回茨城外科学会
*演題 直腸に発生した悪性黒色腫の一例
発表者 外科 五田一敬
- 第33回筑波大学眼科集談会
*演題 白点状眼底2家系におけるRDH5遺伝子変異
発表者 眼科 佐藤正樹